

書誌第102号追

本州北西岸水路誌

追補第7

令和7年（2025）7月25日発行



海上保安庁

本 州 北 西 岸 水 路 誌

追 補 第 7

この追補は、令和4年3月刊行の本州北西岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和7年4月25日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和7年7月25日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所（表題、港名等）	備 考
12	AIS信号所	追補第5の当該ページは無効
51	川尻岬～高山岬	
52	仙崎湾	
62	浜田港	追補第5の当該ページは無効
66	十六島《ウップルイ》湾、河下港	
67	河下港	
74	別府港	追補第5の当該ページは無効
90	鳥取港	
100	伊根港	
104	舞鶴港	追補第3の当該ページは無効
106	舞鶴港	
115	敦賀港	
121	金沢港	追補第5の当該ページは無効
122	滝崎～猿山岬	
123	輪島港	
124	舳倉島漁港	
135	七尾港	追補第6の当該ページは無効
143	伏木富山港 新湊区及び付近	追補第6の当該ページは無効
147	生地鼻～直江津港	追補第4の当該ページは無効
178	秋田船川港 秋田区	追補第5の当該ページは無効
191	青森港	追補第3の当該ページは無効

各港湾付近及び陸岸寄りの灯光による航路標識は、背後の灯火及び漁火などにより見えにくいことがある。

浮標式 日本国内では、IALA(国際航路標識協会) 海上浮標式 (B 方式) を採用している。

水源 主航路から港湾に接続する航路は港湾側を、また港湾内における航路については、通常船舶が停止して荷役するところを、左舷標識及び右舷標識の方向の基準となる“水源”と定めている。

AIS 信号所 船舶の AIS (Automatic Identification System: 船舶自動識別システム) 受信機又は AIS 重畳表示が可能な航海用レーダや ECDIS (Electronic Chart Display and Information System: 電子海図表示システム) 画面上に航行船舶の指標となる航路標識のシンボルマーク等を示すための電波を発射する施設であり、既存の航路標識に AIS 局を併置した「リアル: Real」と実際には存在しない航路標識を航海用レーダ等に表示させる「バーチャル: Virtual」がある。

この水路誌の記載区域内には、次の信号所がある。

信号所名	位 置	種 別	備 考
由利本荘沖海洋観測施設 A I S 信号所	39° 25.6' N 139° 44.4' E	Real	由利本荘沖海洋観測施設灯に併置

第 6 章 水 先

水 先 区

水先区とは、水先法の適用される区域で、名称及び区域は政令で定めるものをいう（水先法第 33 条、同法施行令第 3 条）。この水路誌の記載区域内の水先区は、次表のとおりである。

水 先 区	区 域
境	境港の区域
舞 鶴	舞鶴港の区域
七 尾	七尾港及び付近
伏 木	阿尾鼻〔氷見港北部〕と魚津港北区北防波堤灯台とを結んだ線以南の区域
新 潟	新潟港の区域
酒 田	酒田港の区域
秋 田 船 川	秋田船川港の区域

水 先 人 会

各水先区における水先人会の概要は、次表のとおりである。

名称及び連絡先	乗 船 地 点	備 考
境水先区水先人会 TEL 0859-30-2124 FAX 0859-30-2128	1 大型旅客船、大型チップ船 35° 33.0' N 133° 19.0' E 付近 2 その他の船舶 35° 32.5' N 133° 18.6' E 付近	・水先人用はしごは、都度代理店より要請する。 ・検疫錨地は大型船の錨地には適さないもので、錨泊する場合は、35° 32.5' N 133° 18.6' E 付近を勧める。 ・美保湾は、避難地として多くの船舶が避泊し、一般船水先人乗船場所が占有されることが多いため、泊地は早めに確保すること。 ・境港防波堤灯台から 143° 2M 付近に養殖筏があるので注意すること。
舞鶴水先区水先人会 TEL 0773-77-5587 FAX 0773-77-5587	35° 33.1' N 135° 19.4' E 付近	水先人用はしごは、風下舷に用意すること。
七尾水先区水先人会 TEL 0767-53-1192 FAX 0767-53-1193	荒神鼻上、能登島指向灯を 258.8° とする線上、次の 2 か所が設定されている。 ・3 万総トン未満の船舶 37° 07.4' N 137° 05.6' E 付近 ・3 万総トン以上の船舶 37° 07.6' N 137° 07.0' E 付近	・入港時 VHF による連絡が可能である。 ・夜間、港口に接近する場合は、少なくとも 3M 沖合から能登島指向灯の白光を視認航行し、針路左右の漁網に十分注意すること。 ・港内及び港口付近の航行水路内では通年にわたり、魚索等が多数ある。

栗 野 港 (34° 21.9' N 130° 58.6' E) (海図W115) (JP YYA)

(2020 年 6 月撮影)

港種 港則法適用港

概要 油谷湾内にある**栗野川**の河口にある港である。港界付近の水深は 5m前後、沖防波堤灯台から内方の水深は2m前後のところがある。

川尻岬～高山岬 (海図W136)

概要 深川湾～仙崎湾の北方に**青海** ~~《オミ》~~ 島があり、同島の東端付近から南東方へ大島、**笹島**、**鹿の島**などの小島が続いている。

青海島は、東西の長さ約 8.5km で、ほぼ中央に幅 200mの地峡があり、南方に**仙崎瀬戸** (34° 23.9' N 131° 11.9' E)がある。この島は北長門海岸国定公園の中心に位置し、玄武岩の海食がけが顕著である。また、島の北岸には陰礁が多い。

川尻岬の東南方約 2Mに、**川尻漁港**があり、仙崎湾の東方約 8Mに萩港がある。

仙崎湾口～萩港口の沖合には、相島、大島等の六島諸島（通称）が散在し、沿岸には、ツバ瀬、ウツ瀬等数個の危険な礁が存在する。

萩港口の虎ヶ埼 (34° 27.6' N 131° 23.8' E) から北東方高山岬 (34° 39.9' N 131° 36.8' E) (目標の項参照) までの約 16Mの海岸は、山地が海側に迫り、平野はほとんどない。

虎ヶ埼～**モドロ岬** (34° 32.3' N 131° 28.0' E) 間には数個の小湾があり、モドロ岬～高山岬間は一般に小石の浜で陰礁も多い。高山岬の南南西方約 2Mに須佐港がある。

高山岬～**セツ島** (数個の小島) 間の水路は強風時には波浪が高くなる。同島には近づかない方がよい。また、同岬の南西方約 1Mに北西方へ約 700m 延びる水上岩群がある。

潮流 仙崎湾では、笹島の西方約 1Mの所で、最強流速が 0.5kn の東流、同島の南西方約 1Mの所で、最強流速が 0.4kn の南東流がある。

また、仙崎湾北方の潮場の鼻の東方約 1.3Mの所では、最強流速が 1kn の東流及び西流がある。

漁業 5～11 月にかけて、この沿岸の距岸 5～60M付近の所々にシイラ漬けが設置されることがあるので、沖合を航行する船舶は注意を要する。

目標

地物名	概位	備考
今 岬	34° 25.0' N 131° 07.9' E	灯台がある。
竹の子岩	34° 26.0' N 131° 10.1' E	高さ33m、切り立った茶褐色の岩
潮場の鼻	34° 26.3' N 131° 15.1' E	灯台があり、付近は陰しく切り立ち奇観を呈す。
大 島	34° 24.9' N 131° 16.1' E	高さ115m、北端に灯台がある。青海島南東端との間の水道を帆止ノ瀬戸といい、水深10m以上の幅は約300mである。
無線塔	34° 22.2' N 131° 19.2' E	高さ542m、パラボラアンテナ付、日尾山頂521mにある。
鯖《サバ》島	34° 25.7' N 131° 19.2' E	島頂は高さ142mの鋭峰、西方からの目標によい。
虎ヶ埼	34° 27.6' N 131° 23.8' E	灯台があり、港口接近時の目標によい。
遠岳山	34° 31.6' N 131° 28.2' E	高さ416m、西方約1.2kmの埼端上に灯台がある。
宇田島	34° 34.4' N 131° 28.8' E	高さ41m、島岸はほとんどがけ、頂は平らで松が茂っている。
金井埼	34° 36.9' N 131° 33.4' E	陰しく切り立ったがけ
高山《コウヤマ》岬	34° 39.9' N 131° 36.8' E	灯台があり、顕著

注意 次のとおり各定置網がある。

- ・ 青海島東岸至近の松島南方約400mの海岸から東方へ約0.5M延びる定置網がある。
- ・ 鯖島東岸の距岸650m以内に定置網及び鯖島南岸から南東方へ約0.5M延びる定置網がある。
- ・ 虎ヶ埼の東南東方海岸から北東方へ約0.6M延びる定置網及び大島東岸北部から東北東方へ約700m延びる定置網がある。
- ・ 弁天埼 (34° 35.0' N 131° 33.2' E) から北西方へ約0.8M延びる定置網がある。
- ・ 高山岬の東方約1Mにある海岸付近から北東へ約0.5M延びる定置網がある。

深川《フカフ》湾 (34° 23.6' N 131° 09.8' E) (海図W136)

概要 今岬(目標の項を参照)と青海島北西端との約2Mを湾口として北方へ開き、南東方へ約3M湾入する。水深は、湾口の約40mから奥に向かって漸減し、底質は砂又は礫で、湾奥は小石の浜である。

北寄りの風のとき以外は、湾内所要の水深の所に錨泊できるが、錨かきは余り良くなく、海草が多いという。湾の東部は、仙崎瀬戸で仙崎港に続く。

仙 崎 湾 (34° 24.5' N 131° 14.5' E) (海図W1177)

概要 青海島の南側にある東方へ開いた湾で、笹島とその南方対岸との間を湾口とし、長さ約4M、幅約1～2Mである。湾奥に仙崎港があり、仙崎瀬戸によって深川湾に通じている。

湾内の水深は20～35mで、底質は泥又は砂泥、風向によって南、北両側に安全な錨地が得られる。

仙崎湾西岸の大日比沖の水深10～20mの所は、西～北風を防ぎ2,000t以下の船舶の好錨地である。

湾の南浜にある野波瀬漁港の沖合、水深18～28mの所は、南～西風を防ぎ2,000t以下の船舶の好錨地であるが、幸島の南西方400m付近に魚類の養殖施設があるので注意を要する。

仙崎湾北側(青海島南東岸の通《カヨイ》から南西方の約1,000m～約2,500mの沖合)に、いけす及び関連する7基の円柱形の灯付浮標があるので注意を要する。

青海島と大島間の帆止ノ瀬戸 (34° 25.0' N 131° 15.8' E) は、1,000t以下の船舶が通航している。

針路法 湾口に夜標が少ないので、夜間の入港がやや困難である。入港の際は、大島北東方付近の縄掛礁～壁岩間、沢尾曾(東側に灯浮標がある)～黒島間、鹿の島～三ツ子岩間の各中央を通航して、所要の錨地に向かう。

三 階 山	34° 52.4' N 132° 05.0' E	高さ 379m、山頂の北北西方約 480m の山腹に 2 基の無線塔（各パラボラアンテナ付、灰色、水銀灯を点ずる）がある。水銀灯は良い夜間目標である。
大島〔天神島〕	34° 52.7' N 132° 02.7' E	
8 サ イ ロ	34° 52.8' N 132° 03.4' E	セメント用
無 線 塔	34° 54.1' N 132° 04.5' E	高さ 101m、赤白塗

架橋 漁港ふ頭と瀬戸ヶ島間に、浜田マリン大橋（34° 53.8' N 132° 03.7' E、高さ約 18m）がある。

入港上の注意 馬島～瀬戸ヶ島間を通航する場合は、潜堤や鶴島グリなどの陰礁に注意する必要がある。馬島の北東岸から北東方へ延びる馬島防波堤がある。

漁港区域へ出入するときは、防波堤が高いので行会い船の船体が隠れることがあるので注意する必要がある。

冬季は港口付近で、高波が立ち航行困難になることがある。海上平穏な日には、港口付近に多数の遊漁船と防波堤に釣り客を渡す瀬渡し船が出ている。

夜間入港時、小伊勢島（34° 54.0' N 132° 02.2' E、高さ 1.5m）は馬島灯台の照射灯に照らされているが、北方及び東方からの接近時には視認しにくく、また西方からの港口への接近は港口と街の灯りが重なり、出港船等が視認しにくいので注意を要する。

航泊制限 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は、港内に停泊中の同タンカー（タンク船を含む）から 30m 以内の海面に立ち入ることが禁止されている。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間でも容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

水先 水先法という水先区ではないが、水先類似行為者がいるので、浜田港運（株）（TEL:0855-27-0072）を通じて申し込む。水先類似行為者は、浜田港シャックリ灯標から 304° 0.5M 付近又は同灯標から 270° 0.6M で錨泊した船舶に乗船する。

港湾施設 港湾区域には西側に長浜ふ頭、東側に福井ふ頭があり、漁港区域には中央に漁港ふ頭がある。

港湾区域

名 称		概 位		長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
長 浜 ふ 頭	1 号岸壁	34° 52.6′ N	132° 02.7′ E	185	9～9.5	15,000×1	
	2 号岸壁	34° 52.6′ N	132° 02.6′ E	130	6.5～7	5,000×1	
	3 号岸壁	34° 52.6′ N	132° 02.8′ E	70	5～7	1,000×1	
	4 号岸壁	34° 52.7′ N	132° 02.6′ E	90	6	2,000×1	
	1～3 号物揚場	34° 52.5′ N	132° 02.5′ E	延長 330	3～4.5	500×3	
長浜栈橋		34° 52.5′ N	132° 02.6′ E	120	北側 3～7.5 南側 3～7.5	—	
福 井 ふ 頭	1 号岸壁	34° 52.7′ N	132° 03.4′ E	130	7～7.5	5,000×1	浅所を示す2灯付浮標がある。
	2 号岸壁	34° 52.7′ N	132° 03.5′ E	90	5～7.5	2,000×1	
	3 号岸壁	34° 52.9′ N	132° 03.3′ E	280	11～14	55,000×1	多目的クレーン 1 基
	4 号岸壁	34° 52.8′ N	132° 03.3′ E	130	8	5,000×1	ガントリークレーン 1 基

日御碕～多古鼻（海図W133、W1172）

潮流 恵曇港口では、一般に上げ（下げ）潮流は南東方（北西方）へ流れ、流速は微弱である。

港口の北西方約 3.8Mの沖合では、上げ（下げ）潮流は西方（東方）へ流れ、流速は 0.5kn 以下である。

漁業 この沿岸には、春季から秋季にかけて距岸 6～50M沖合に竹製のシイラ漬け、春季から夏季にかけて距岸 5～13M沖合にトビウオの流し刺し網が設置されるので、沖合航行船は注意を要する。

目標

地物名	概 位	備 考
十六島鼻	35° 28.2' N 132° 43.7' E	鋭い埼端で、灯台がある。
長尾鼻	35° 30.2' N 132° 49.9' E	灯台がある。
犬堀鼻	35° 32.6' N 132° 58.1' E	鼻の西側に恵曇灯台がある。
獅子鼻	35° 34.7' N 133° 02.9' E	潜戸《クケド》鼻灯台がある。
多古鼻	35° 36.1' N 133° 05.1' E	がけの岬、東方約 600mに灯台がある。この鼻の西方至近に六ツ島（高さ 25m）がある。

十六島《ウップルイ》湾（35° 27.5' N 132° 43.2' E）（海図W1176^B）

概要 この湾は、日御碕の東北東方約 4Mにある西方へ開いた湾で、湾口の幅及び湾入はともに約 2M、水深は湾口で約 40m、十六島漁港前面で 8m前後となる。

湾奥の北岸に十六島漁港、南岸に河下港がある。

底質は砂又は岩で、錨かきは良く、西～北風るとき以外は小型船の泊地によい。

注意 十六島鼻から南西方へ約 700m延びる定置網がある。

針路法 河下港に向かう船舶は、十六島鼻灯台（35° 28.2' N 132° 43.7' E）の南西方 800m付近から定置網（長さ、十六島鼻から南西方へ約 700m）を避けつつ、十六島港北第 2 防波堤灯台（35° 27.4' N 132° 44.9' E）に向首して進むが、**工事中的新沖**防波堤があるので、入港する際は注意を要する。

河 下 港（35° 27.1' N 132° 45.0' E）（海図W1176^B）

十六島漁港 **新沖防波堤**

（2020 年 7 月撮影）

概要 十六島湾(35° 27.5' N 132° 43.2' E)の南側奥にある地方港湾で、LPG タンカーや砂利運搬船が入港する。

この港は、北西風の強吹時に波浪が防波堤を越えて侵入し、係留は著しく困難になる。
港の北側に、十六島漁港がある。

目標

地 物 名	概 位	備 考
タ ン ク	35° 27.2' N 132° 45.5' E	4 基、緑色、顕著

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (t×隻)	備 考
第1号物揚場(−4.0m)	35° 27.0' N 132° 44.9' E	100	2~4	500×2	
第1号突堤式岸壁(−5.0m)	35° 27.0' N 132° 45.0' E	70	2~4.5	1,000×1	
第2号物揚場(−4.0m)	35° 27.1' N 132° 45.4' E	50	2.5~4	500×1	
第2号岸壁(−5.0m)	35° 27.1' N 132° 45.3' E	70	4~4.5	1,000×1	
第3号岸壁(−7.5m)	35° 27.1' N 132° 44.9' E	130	7.5	5,000×1	

錨泊上の注意 港内では、北西風の強吹時に走錨しやすいので注意が必要である。

恵曇《エトモ》港 (35° 31.4' N 132° 58.1' E) (海図W1176^A) (JP ETM)



(2020年7月撮影)

港種 港則法適用港

概要 十六島鼻の東方約13Mにある港で、漁港でもある。

港内東部の佐陀川(宍道湖に通じている)河口に開けた河口港で、浜田、西郷両港とともに島根県の重要な漁業基地である。同河口を境として、通称北側は恵曇、南側は古浦と呼ばれている。

錨地 小型船の好避泊地であり、かつ大型船の避泊にも適する。港内中央部は水深 28m 前後、底質泥で錨かきは極めて良い。

錨泊上の注意 湾内沿岸部一帯には、定置網及び養殖施設があり、荒天時には多数の船舶が錨泊するので、錨地の選定には注意が必要である。

補給 清水、燃料油及び水の補給ができる。

別 府 港 (36° 06.4' N 133° 02.8' E) (海図W1298)



(2020 年 8 月撮影)

概要 西ノ島、別府湾西奥にある地方港湾で、島前の経済等の中心的役割を果たしている。

見付島の北方及び南西方に－6m岸壁などの係船施設がある。

港内の水深は 10m 前後で、東寄りの風のとき以外は好泊地になる。

目標

地 物 名	概 位	備 考
見 付 島	36° 06.4' N 133° 02.5' E	樹木が密生
黒 木 埼	36° 06.7' N 133° 02.7' E	樹木が密生

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (t × 隻)	備 考
別府 1 号岸壁	36° 06.5' N 133° 02.5' E	113	未測	1,000 × 1	フェリー用 (内航船)
別府 4 号岸壁		158	5.5 ~ 6.5	4,000 × 1	フェリー用、 未測箇所あり
別府 11 号護岸	36° 06.4' N 133° 02.6' E	80	3.5	—	高速船用 (内航船)
別府 2 号岸壁	36° 06.6' N 133° 02.5' E	140	3.5 ~ 4.5	1,000 × 1	
別府 4 号護岸		45	未測	—	観光船用 (運航停止中)
別府 3 号岸壁	36° 06.3' N 133° 02.4' E	140	4.5 ~ 5	1,000 × 1	
別府 5 号岸壁	36° 06.4' N 133° 02.6' E	80	未測	4,000 × 1	ジェットfoil用
別府 7 号岸壁	36° 06.2' N 133° 02.5' E	110	未測	—	
大山 1 号物揚場	36° 05.9' N 133° 02.7' E	50	4.5 ~ 5	—	貨物船用

補給 清水の補給ができる。

港種 港則法適用港、重要港湾

概要 千代川河口の西側にある河口港のため、河川と港湾とを分離して、流砂による港湾機能の低下を防止した。更に大型船用の岸壁など、鳥取県中、東部の流通拠点港として整備された。港内は、商港区（千代地区）と漁港区（賀露地区・西浜地区）に分かれている。

気象 北～北東方の風が吹く時は、港内にうねりが侵入する。

目標

地物名	概位	備考
鳥ヶ島	35° 32.6' N 134° 11.0' E	島頂に鳥取港灯台がある。
サイロ	35° 32.4' N 134° 11.4' E	銀色、2基

入港上の注意 北寄りの風又はうねりが強いときは、川の流れも影響して港口付近は、波が高くなり出入港が困難になることがある。また、千代川が増水した時は、出入港に注意が必要である。

水先 水先法にいう水先区ではないが、境水先区水先人会が要請に応じる。（第1編総記 第6章水先参照）

港湾施設

名 称		概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
千代	1号岸壁	35° 32.5′ N 134° 11.2′ E	185	9.5	10,000×1	
	2号岸壁	35° 32.5′ N 134° 11.4′ E	260	7	5,000×2	
	3号岸壁	35° 32.4′ N 134° 11.2′ E	130	6.5～7	5,000×1	
	4号岸壁	35° 32.3′ N 134° 11.3′ E	180	5.5～6	2,000×2	
	5号岸壁	35° 32.3′ N 134° 11.4′ E	300	2.5～4.5	700×5	
	6号岸壁	35° 32.2′ N 134° 11.5′ E	120	3.5～5	700×2	
	7号岸壁	35° 32.1′ N 134° 11.7′ E	180	2.5～3.5	700×3	
	8号岸壁	35° 32.5′ N 134° 11.5′ E	70	5	1,000×1	危険物専用
	9号岸壁		60	4.5	700×1	〃
賀露	1号岸壁	35° 32.3′ N 134° 11.2′ E	90	3～5	—	漁船係留用
	2号岸壁	35° 32.2′ N 134° 11.3′ E	180	4	—	〃
西浜	-4.5m岸壁	35° 32.3′ N 134° 10.8′ E	560	3.5～5	100×6	〃

錨地 磯島（35° 32.5' N 134° 11.0' E）南側の西防波堤と千代3号岸壁の間は、帯状に底質岩のところがあるが、その他は砂で錨かきは良い。

錨泊上の注意 港内は狭く大型船の錨泊には適さない。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
鳥取海上保安署	0857-32-0118	鳥取県鳥取港湾事務所	0857-28-2432
神戸税関税関支署鳥取監視署	0857-25-1115		

補給 清水の補給ができる。給油船(A重油)がある。

医療機関

名称	電話番号	備考
鳥取県立中央病院	0857-26-2271	

目標

地物名	概位	備考
黒鼻	35° 39.9' N 135° 16.9' E	伊根港灯台がある。
城山	35° 40.1' N 135° 16.4' E	高さ 131m
毘沙門岩	35° 40.1' N 135° 16.7' E	高さ 2.4m

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
岸壁	35° 40.4' N 135° 17.6' E	延長 400	3～5	—	大浦地区

上表のほか、大浦地区西方の平田地区に物揚場がある。

錨地 この港は、四方の風を防ぐ安全な避泊地で、500～2,000 t 級の船舶が錨泊できる。港内は、距岸 100～200m の所でおおむね 20m 以上の水深があり、底質泥で錨かきが良い。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、宮津海難防止会台風等・津波対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：宮津海上保安署）。

補給 地元漁船を対象に清水、燃料油及び氷の補給ができる。

波見埼～黒 埼【宮津湾】（海図W118、W1164）

概要 宮津湾（35° 36.0' N 135° 14.1' E） 波見埼～黒埼間の約 1.3M を湾口とし、南西方へ約 5 M 湾入する。湾の大部分は宮津港の港域で、天橋立を隔てた西奥を阿蘇海〔与謝ノ内海〕という。

西岸の波見埼から天橋立基部までの約 3.5M 間は、一帯の砂浜で背後に山が連なる。東岸は一般に屈曲が多く、埼端は高くて陰しい。この湾は北東方へ開いているが、水深 11～27m、底質泥で、陰礁も少なく、各方向の風を防ぐ大小船舶の好泊地である。

注意 宮津湾付近で荒天避泊を行う場合は、宮津海上保安署（無線電話の場合は、16ch で「まいづるほあん」）に連絡すると共に、鷺埼から波見埼に至る間及び黒埼周辺に設置されている定置網には近づかないこと。

潮流 湾内の潮流は湾浜に並行し、上げ（下げ）潮流は南西方（北東方）へ流れ、最強流速は約 0.7kn である。

無線柱	35° 28.5' N 135° 23.4' E	高さ 69m
煙突	35° 30.0' N 135° 24.1' E	高さ 81m、赤白塗
煙突	35° 31.9' N 135° 20.7' E	高さ 257m、赤白塗
コンテナクレーン	35° 28.3' N 135° 19.8' E	高さ 60m、赤白塗、移動式

航路 金ヶ岬と黒鼻の中間付近から戸島北岸に至り、ここから2つに分岐し戸島の西側を通り伊崎付近に至るものと、戸島の北側を通り、烏《カラス》島付近に至るものがあり、いずれも法定航路である。

針路法 西港に入港する場合は、戸島の東端と三本松鼻灯台とを一線(155.5°)に見て航路に入り、牛糞《ウシクソ》鼻(35° 30.9' N 135° 20.7' E)正横後、針路190°に変針して、戸島北端の荊《イバラ》埼(35° 29.9' N 135° 20.4' E)に正横後、航路を通り岸壁に向かう。

東港に入港する場合は、上記の針路にて航路に入り、牛糞鼻に正横後荊埼に針路175°で向首して進み、三本松鼻を大回りして東方へ向かい、戸島東端を航過後、針路088°で進み、烏島に正横後適宜岸壁に向かう。

なお、第3区内の距岸約400m以内には、各所にトリ貝、カキなどの養殖施設がある。

また、三本松付近にて、出入港船と出会うことがあるので注意を要する。

通信 船舶と港長との間で、無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	周波数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連絡先
まいづるほあん MAIZURU COAST GUARD RADIO	16/12ch	常時	舞鶴海上保安部(港長)

架橋 第3区の黒鼻(35° 30.5' N 135° 23.5' E)から対岸に舞鶴クレインブリッジ(35° 30.6' N 135° 23.3' E、高さ24m)がある。

水先 舞鶴水先区水先人会に要請する。(第1編総記 第6章水先参照)

航泊制限 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は、港内に停泊中の同タンカー(タンク船を含む)から30m以内の海面に立ち入ることが禁止されている。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間でも容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

港湾施設

西港

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
第2 ふ頭	1号岸壁 35° 27.4' N 135° 19.3' E	130	7.5	5,000×1	
	2号岸壁 35° 27.4' N 135° 19.2' E	185	9	15,000×1	ガントリークレーン
	3号岸壁 35° 27.3' N 135° 19.3' E	165	9.5	10,000×1	
	4号岸壁 35° 27.2' N 135° 19.3' E	165	9.5	10,000×1	
第3 ふ頭	1号岸壁 35° 27.2' N 135° 19.2' E	185	8.5～9	15,000×1	北側(150m)は護岸で係船できない。
	2号岸壁 35° 27.2' N 135° 19.1' E	185	8.5～9	15,000×1	
第4 ふ頭	-10m岸壁 35° 27.1' N 135° 19.0' E	185	8.5	15,000×1	
	-5.5m岸壁 35° 27.2' N 135° 18.8' E	300	3～3.5	1,000×3	
喜多 ふ頭	1号岸壁 35° 27.6' N 135° 19.0' E	130	8	5,000×1	
	2号岸壁 35° 27.7' N 135° 19.0' E	240	12	30,000×1	

検疫錨地は、港口付近の牛糞鼻の北北西方（35° 31.1' N 135° 20.5' E）（主として宮津港、東港入港船用）と戸島の南方（35° 29.4' N 135° 20.4' E）（主として西港入港船用）にある。

避泊上の注意 舞鶴海上保安部では、避泊船は第3区に避泊するよう特に指導している。また、大型船は、栗田湾に避泊するよう指導している。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、舞鶴港台風・津波等災害対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：舞鶴海上保安部）。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
第八管区海上保安本部	0773-76-4100	大阪検疫所舞鶴出張所	大阪検疫所 06-6571-4312 へ連絡
舞鶴海上保安部（港長）	0773-76-4120	大阪出入国在留管理局 舞鶴港出張所	0773-75-1149
大阪税関舞鶴税関支署	0773-75-9116	京都府港湾局	0773-75-0192
近畿運輸局京都運輸支局 舞鶴庁舎	0773-75-0616		

引船 引船（3,600PS ほか）がある。

補給 清水、燃料油の補給ができる。給油船がある。

修理

造 船 所 名	電 話 番 号	備 考
ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所	0773-62-8700	

医療施設

名 称	電話番号	備 考
国立病院機構舞鶴医療センター	0773-62-2680	

海上交通 小樽港との間に高速カーフェリー便（16,897 t）があり、東港から発着する。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
敦賀海上保安部（港長）	0770-22-4179	大阪検疫所敦賀出張所	大阪検疫所（本所） 06-6571-4312 へ連絡
大阪税関敦賀税関支署	0770-22-0025	名古屋植物防疫所 伏木富山支所	0766-44-0954
中部運輸局福井運輸支局 敦賀庁舎	0770-22-0003	福井県嶺南振興局 敦賀港湾事務所	0770-22-0369

引船 引船がある。

補給 清水、燃料油の補給ができる。

廃油処理施設

事 業 者 名	申 込 先	利 用 時 間	処理する廃油の種類	
			廃 重 質 油	廃 軽 質 油
福 井 県	福井県嶺南振興局 敦賀港湾事務所 0770-22-0369	0830～1700	ビルジ	

医療施設

名 称	電話番号	備 考
市立敦賀病院	0770-22-3611	

海上交通 新潟港、秋田船川港及び苫小牧港との間にカーフェリー便（18,229 t）があり、鞍山北岸壁 D から発着する。また、7、8 月に敦賀～浦底間の小型定期船が川崎栈橋（旧笹ノ川河口左岸）から発着する。

岡 埼～越前岬（海図W1164）

概要 岡埼～越前岬間の約 16Mの海岸は、一般にがけで、沿岸には岩礁が多い。干飯埼の北方約 3.2M に越前漁港がある。

目標

地 物 名	概 位	備 考
アマゴゼ山	35° 48.5′ N 136° 05.2′ E	高さ 400m
干飯《カレイ》 埼	35° 53.3′ N 135° 59.7′ E	灯台がある。
城 山	35° 55.6′ N 136° 01.1′ E	高さ 513m
越 前 岬	35° 58.9′ N 135° 57.5′ E	若狭湾の東角を成すがけの岬で、灯台がある。

最大入港船舶 2025 年 4 月 25 日、客船 MSC ベリッシマ（171,598 t、喫水 8.7m）が大浜ふ頭に着岸した。

錨地 旧金石港（36° 36.2′ N 136° 35.4′ E）の北から北西方の沖合 0.7～1M の水深 11～16m 付近は底質細砂で、かつ、遠浅であり、はえ縄、刺網等の漁具が多数あるので、錨泊には注意が必要である。検査錨地は大野灯台の北西方約 1.4M にある。

錨泊上の注意 冬季北西風の強吹時は、走錨の危険があるので錨地には向かない。

なお、岸壁係留中の船舶は、北西風の強吹時でも係留に支障はない。

台風・津波等対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、金沢港台風・津波等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達を実施するとともに、金沢港長から港則法に基づく警戒勧告、避難勧告の発出、解除を行っている。（問合せ先：金沢海上保安部）

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
金沢海上保安部（港長）	076-267-0511	名古屋植物防疫所 伏木富山支所小松空港出張所	0761-24-1406
大阪税関金沢税関支署	076-268-9181	名古屋出入国在留管理局 金沢出張所	076-222-2450
新潟検疫所金沢・七尾出張所	0761-21-3767 (小松空港出張所へ連絡)	石川県金沢港湾事務所	076-268-1201
動物検疫所 中部空港支所小松出張所	0761-24-1407 (小松空港内)		

通船 通船がある。

引船 引船がある。

補給 清水が補給できる。給油船がある。

修理 小さな造船所があり、100 t 以下の船舶の修理ができる。

廃油処理施設

事 業 者 名	申 込 先	利 用 時 間	処 理 す る 廃 油 の 種 類	
			廃 重 質 油	廃 軽 質 油
(株)ダイセキ	北陸事業所 076-275-6585	0900 ～ 1600	水バラスト、スロップオイル、コレクトオイル、タンク洗浄水、ビルジ、スラッジ、その他	水バラスト、タンク洗浄水、スロップオイル、スラッジ、その他

医療施設

名 称	電話番号	備 考
石川県立中央病院	076-237-8211	
済生会金沢病院	076-266-1060	

滝 埼～猿山岬（海図W1161）

概要 滝埼～猿山岬間の約 25M は、能登半島の西岸で、ほぼ中央に**海士埼**がある。

海士埼の南に**福浦港**（37° 05.1′ N 136° 43.3′ E）（港則法適用港）（JP FRJ）、**富来漁港**などの諸港がある。

目標

地物名	概位	備考
海士《77》埼	37° 08.8' N 136° 40.2' E	灯台がある。
高爪山	37° 12.4' N 136° 43.5' E	高さ 341mの鋭峰、樹木がよく茂って黒色、極めて顕著で、夜間でも遠距離から認めることができる。
猿山岬	37° 19.4' N 136° 43.5' E	頂の猿山（高さ 332m）は顕著。岬上に灯台（消灯、仮灯設置中）がある。

猿山岬～禄剛埼（海図W120）

概要 約 32M続く能登半島の北岸は、おおむね東北東方へ延び屈曲は少なく、岩海岸が多い。

中部に輪島港があり、その北方沖合 27M以内に舳倉島（37° 51.1' N 136° 55.1' E）、七ツ島（37° 36.0' N 136° 52.4' E）、嫁礁（37° 40.3' N 137° 12.5' E）などがある。

皆月湾（37° 21.1' N 136° 44.7' E）は、猿山岬の北東方約 2Mにあり、北西方へ開く。幅約 0.8M、湾入約 0.5M、狭くて錨かきも悪い。

潮流 輪島港～七ツ島間では、北西流（南東流）は高潮時（低潮時）に最強となるが流速は微弱である。

目標

地物名	概位	備考
白埼	37° 27.0' N 137° 02.8' E	北方に突出し、先端部にがけがある。
鞍埼	37° 29.9' N 137° 08.7' E	能登鞍埼灯台がある。
禄剛埼	37° 31.7' N 137° 19.6' E	灯台がある。

輪島港（37° 24.1' N 136° 54.3' E）（海図W1199）（JP WJM）



（2020 年 8 月撮影）

港種 港則法適用港

概要 猿山岬の北北東方約 10Mの竜ヶ埼東側にある港で、能登半島北岸における唯一の避難港である。

目標

地 物 名	概 位	備 考
高 洲 山 《コウノスサン》	37° 23.2' N 136° 57.6' E	高さ 567m、付近の最高峰で、頂に顕著なドーム（薄緑色で白灯を点ずる）がある。
竜 ケ 埼	37° 24.3' N 136° 54.1' E	輪島港口の西角を成し、付近のがけの上に灯台がある。
著 屋	37° 23.8' N 136° 54.3' E	ホテル、7 階建、入港目標になる。

入港上の注意 沿岸には漁網が多いので、接近しないよう注意が必要である。また、37° 24.2' N 136° 55.0' E 付近で防波堤築造工事が行われている。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
マリンタウン岸壁	37° 23.9' N 136° 54.5' E	220	7～7.5	—	船溜防波堤東側
物 揚 場	37° 24.2' N 136° 54.1' E	60	3.5	—	第 1 防波堤基部南側
物 揚 場	37° 24.2' N 136° 54.0' E	100	1.5～2.5	—	第 2 製氷施設前
物 揚 場	37° 24.1' N 136° 54.1' E	延長 820	0.5～3.5	—	第 3 防波堤基部南側から第 5 防波堤基部北西側の間

最大入港船舶 2016 年 9 月 12 日、旅客船「ぱしふいっくびいなす」（26,594 t、喫水 6.5m）がマリンタウン岸壁に着岸した。

錨地 第 4 防波堤（東端に輪島港第 4 防波堤灯台あり）の南側に避泊地がある。3,000 t 級以下の船舶は、この避泊地に錨泊できるが、北東～東の風の時は、風浪の影響を受けやすく、錨泊に適さない。

補給 物揚場で清水、燃料油及び氷の補給ができる。

修理 造船所及び鉄工所がある。

医療施設

名 称	電話番号	備 考
市立輪島病院	0768-22-2222	

海上交通 舢倉島漁港との間に定期船便（98 t）（運航停止中）がある。

舢 倉 島 (37° 51.1' N 136° 55.1' E) (海図W120、W1468)

概要 この島は、輪島港の北方約 27Mにある孤島で、砂浜はない。島頂（高さ 12m）は平らで樹木が少なく、中央に灯台及び白塗給水塔がある。

島は、北東～南西方向へ長く、長さ約 1.5km、周囲 500～1,000mの間は岩礁が広がり、特に、島の南端から南方へ延びるものが著しい。

舢倉島灯台の気象、海象の現況を電話（テレホンサービス TEL 0767-52-1776）で提供している。

島の南東岸中部に、舢倉島漁港がある。

舢倉島漁港 (37° 50.9' N 136° 55.3' E) (海図W1468)



(2020年4月撮影)

概要 舢倉島の南東岸に位置する漁港である。沿岸漁業の前進基地、また、避難港及び補給港としての役割を果たしている。

港湾施設 防波堤に囲まれた船だまりがあり、港口は南東方へ開いている。港口付近の水深は、3.1mであるが、第2防波堤先端付近は、水深が浅くなっている。港口の南方に第1離岸堤（東端に舢倉島港第1離岸堤灯台あり）と、その東方約100mに南北に延びる第2沖防波堤（南端に赤灯、北端に黄灯あり）がある。船だまり西側に漁業ふ頭（通称）がある。

弁天島北東方の防波堤は、中央部付近が一部撤去（撤去部分に緑灯あり）され、北東側に船だまり（西側に物揚場がある）がある。主な係船施設は、下表のとおりである。

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
－4.5m岸壁	37° 51.0' N 136° 55.2' E	延長 100	2～4	－	漁業ふ頭の東側及び同 南西側（南西側には定 期船が着岸）

補給 少量の清水及び燃料油の補給ができる。

海上交通 輪島港との間に定期船便（98 t）（**運航停止中**）がある。

七 ツ 島 (37° 36.0' N 136° 52.4' E) (海図W120)

概要 七ツ島は、輪島港の北方12M付近に散在する2群の岩島で、北東～南西方向へ約3Mにわたって広がる。

これらの岩島には、アシが密生し、樹木はない。漁期には、能登半島から漁民がきて漁業に従事する。

大島（高さ62mで灯台がある）は、北東群中の最大島で、その北西方の**竜島**（高さ36m）が次に大きい。南西群は数個の小島と小岩から成り、最東方島の**荒三子島**（高さ59m）が最も大きい。

二つの群島間に深水の水道があるが、ほぼ中央に**新簗《シンバエ》**（水深18m）、荒三子島の東方約0.5Mに**ジンク**（水深5.3mの岩）がある。

水先 七尾水先区水先人会に要請する。(第 1 編総記 第 6 章水先参照)

航泊制限 一般船舶は、港内に引火性危険物積載タンカー（タンク船を含む）が停泊している間、同タンカーから 30m 以内の水面に立ち入ってはならない。なお、同タンカーは「引火性危険物積載中」と表示された垂れ幕等を掲げている。

港湾施設

名 称		概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
大田ふ頭	大田物資別専門岸壁	37° 03.5' N 136° 59.5' E	185	未測	—	岸壁倒壊
	大田 2 号岸壁	37° 03.5' N 136° 59.6' E	185	9.5～10	15,000×1	
	大田 3 号岸壁	37° 03.5' N 136° 59.4' E	260	11.5	18,000×1	
大田けい船杭		37° 03.6' N 136° 59.8' E	200	10	12,000×1	
第 2 ふ頭東側岸壁		37° 03.1' N 136° 58.8' E	165	9	10,000×1	
第 1 ふ頭	東側栈橋	37° 03.1' N 136° 58.6' E	180	未測	—	岸壁倒壊
	西側栈橋	37° 03.1' N 136° 58.5' E	220	7.5	旅客船 15,000×1 貨物船 6,000×1	耐震岸壁

上表のほか、小泉埼の南南東方約 0.5M に ENEOS グローブガスターミナル栈橋(係船能力 60,000D/W×1 隻)及び雌島東南東方 0.5M 付近に北陸電力七尾大田火力発電所専用栈橋(係船能力 2,000～60,000D/W×3 隻)がある。

最大入港船舶 2018 年 2 月 11 日、貨物船 AKATSUKI (57,036 t、喫水 14.4m) が北陸電力七尾大田火力発電所専用栈橋 (37° 04.2' N 137° 00.2' E) に着栈した。

錨地 港内は浅瀬が点在し、錨地としては狭隘である。第 2 区にある検疫錨地付近は、水深約 17m、底質泥で北西の風を防ぎ 5,000 t 以下の船舶の錨泊に適する。第 2 区から第 3 区にまたがる水深 10m 以上の場所は、1,000 t 以下の船舶が多く利用する。

危険物積載船が錨泊するときは、第 2 区又は第 3 区に錨泊しなければならない。

錨泊上の注意 港内の水深は比較的浅く検疫錨地の水深は、17m 前後であり、南西の強風が連吹した場合、走錨のおそれがある。港内一帯は、ヘドロが堆積した状態であり、錨かきが悪いので注意を要する。七尾港第 13 号灯浮標(37° 05.3' N 136° 59.7' E)を中心とする半径 600m の円内海域及び大瀬灯浮標(37° 05.2' N 136° 58.3' E)を中心とする半径約 350m の円内海域は、それぞれ大型船が変針する海域であるため、この海域を避けて錨泊する必要がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、七尾港台風等・津波対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：七尾海上保安部）。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
七尾海上保安部（港長）	0767-53-7118	石川県七尾港湾事務所	0767-53-0440
大阪税関金沢税関支署 七尾出張所	0767-52-0689	北陸信越運輸局 石川運輸支局七尾庁舎	0767-53-1120

引船 引船がある。

補給 清水及び燃料油が補給できる。給油船は伏木富山港から来る。

修理 造船所が数社あり、400 t 以下の船舶を造修できる。

港湾施設

名 称		概 位		長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
公 共 ふ 頭	中央 1 号岸壁	36° 46.1′ N	137° 06.6′ E	280	13～14	55,000×1	クレーン
	中央 2 号岸壁	36° 46.1′ N	137° 06.5′ E	280	14	55,000×1	クレーン、コンベア
	中央 3 号岸壁	36° 46.1′ N	137° 06.4′ E	275	9～10	15,000×1	クレーン
	中央 5 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 06.1′ E	130	7.5	5,000×1	
	中央 6 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 06.1′ E	130	7.5	5,000×1	
	中央 7 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 06.0′ E	60	4	700×1	
	中央 8 号岸壁	36° 46.2′ N	137° 05.9′ E	60	未測	700×1	
北 1 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.3′ E	280	12.5～13	30,000×1	ガントリークレーン 耐震岸壁
北 2 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.1′ E	185	7～10	15,000×1	
北 3 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.0′ E	60	5～5.5	700×1	
北 4 号岸壁		36° 46.4′ N	137° 06.5′ E	128	12	30,000×1	ガントリークレーン
南水路栈橋		36° 46.0′ N	137° 06.7′ E	36	6	3,000×1	
東 1 号岸壁		36° 45.4′ N	137° 07.8′ E	185	8～9.5	15,000×1	
東 2 号岸壁		36° 45.5′ N	137° 07.7′ E	185	6～8.5	15,000×1	
海 王 岸 壁		36° 46.7′ N	137° 06.6′ E	220	7	15,000G/T×1	

最大入港船舶 2018年10月4日、LNG船 SERI ALAM (95,729 t、喫水 12.43m) が北陸電力富山新港火力発電所 LNG 受入栈橋に着岸した。

停泊地 新湊航路東側に新湊沖船舶停泊地東 A~C (36° 47.3' N 137° 08.7' E) 及び新湊沖船舶停泊地西 A~C (36° 47.4' N 137° 08.3' E) の6灯浮標で囲まれる停泊地がある。日没から日出までの間、停泊禁止である。停泊地東西の定置網の設置に注意すること。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先
富山県富山新港管理局	0766-84-8292

医療施設

名 称	電話番号	備 考
射水市民病院	0766-82-8100	

海上交通 新湊大橋南側の水路を横断する渡船（通称 越ノ潟フェリー）(44 t、46 t) が頻繁に運行されている。

富山区及び付近（海図W1162^A）

(2020年9月撮影)

へ開いている。港奥東側の魚市場前面に－4.5m岸壁（延長175m）があり、同岸壁南方に突堤に囲まれた小さな船だまりがある。また、突堤西側に－4.5m岸壁（長さ60m）、同突堤南方に－3m岸壁がある。

生地鼻～直江津港（海図W120）

概要 生地鼻～宮崎鼻間の約10Mは、黒部川下流の扇状地で、海岸は小石や卵石が散在し、断続する松林の後方は広大な耕地である。宮崎鼻～姫川河口（姫川港の西側）間の約13Mの海岸は低く、急深で、後方の高地は陸側の山脈に連なる。姫川河口～直江津港間の約22Mもほぼ同様で、ほぼ中央に鳥ヶ首岬が突出する。姫川河口～鳥ヶ首岬間のほぼ中央に**能生港**（37° 06.9' N 138° 00.0' E）（港則法適用港）（JP NOU）がある。

潮流 黒部川河口付近では、上げ（下げ）潮流は北東方（南西方）へ流れるようであるが、流速は0.5kn以下である。鳥ヶ首岬の沖合には、まれに流速1knを超える東流がある。

目標

地物名	概位	備考
宮崎鼻	36° 58.3' N 137° 35.2' E	丘陵が海側からしだいに高くなって、陸側の高い山脈に連なっている。鼻上及び北方の防波堤に灯台がある。
黒姫山	36° 58.6' N 137° 47.4' E	高さ1,222m、円すい形
鳥ヶ首岬	37° 10.3' N 138° 05.8' E	岬端は高くないが、陸側は急に高くなり、高さ300mを越え、 頂部には、風力タービンが2基ある。 岬上に灯台がある。
風力タービン	36° 57.8' N 137° 30.5' E	36° 57.3' N 137° 29.9' Eの海岸線地点から、各風力タービン間を繋いだ海底線が敷設されている。 各風力タービンには、施設灯が設置されている。
	36° 58.1' N 137° 31.2' E	
	36° 58.0' N 137° 31.5' E	

鳥ヶ首岬の陸側の山脈は、**青田難波山**（高さ949m）、**妙高山**（高さ2,446m）、**火打山**（高さ2,462m）、**焼山**（高さ2,400m）がそびえ、5、6月ごろは、雲や霧が山並みの全部又は一部を覆い、夏には、白雲が山頂を覆っていることが多い。しかし、日没に近づくと雲、霧は晴れることがある。

姫川港（37° 03.0' N 137° 51.2' E）（海図W1027）（JP HMK）



（2020年4月撮影）

港種 港則法適用港、開港、植物検疫の港

本 港	中島1号岸壁	39° 45.3' N 140° 03.5' E	161	8.5~9	10,000×1	
	中島2号岸壁	39° 45.4' N 140° 03.4' E	185	9.5	15,000×1	
	中島3号岸壁	39° 45.5' N 140° 03.3' E	185	9~9.5	15,000×1	
	北ふ頭A岸壁	39° 45.3' N 140° 03.5' E	122	6~7	5,000×1	
	北ふ頭B岸壁	39° 45.3' N 140° 03.6' E	155	6~6.5	5,000×1	
	南ふ頭C岸壁	39° 45.2' N 140° 03.6' E	155	4.5~5	2,000×1	
	南ふ頭D岸壁	39° 45.1' N 140° 03.6' E	90	5.5	2,000×1	
	下浜-5m岸壁	39° 45.0' N 140° 03.8' E	345	3.5~5	1,000×4	魚市場がある
内 港	寺内ふ頭岸壁	39° 44.7' N 140° 04.0' E	200	6~7	5,000×2	
向 浜	向浜-7.5m 1号岸壁	39° 44.9' N 140° 03.7' E	130	7	5,000×1	
	向浜-7.5m 2号岸壁		130		5,000×1	
	向浜-10m 1号岸壁	39° 45.0' N 140° 03.4' E	186	8.5~9	15,000×1	
	向浜-10m 2号岸壁	39° 45.1' N 140° 03.3' E	186	8~8.5	15,000×1	
	向浜-10m 3号岸壁	39° 45.2' N 140° 03.2' E	185	8.5~10	15,000×1	
	向浜-12m岸壁	39° 45.3' N 140° 03.1' E	240	12	30,000×1	

最大入港船舶 2025年4月24日、客船 MSC ベリッシマ（171,598 t、喫水 8.7m）が中島2号・3号岸壁に着岸した。

錨地 危険物積載船が錨泊するときは、第2区に錨泊しなければならない。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
秋田海上保安部（港長）	018-845-1624	横浜植物防疫所新潟支所秋田出張所	018-845-1411
函館税関秋田船川税関支署	018-845-0735	仙台検疫所秋田船川出張所	018-846-8280
東北運輸局秋田運輸支局	018-863-5811	秋田県秋田港湾事務所	018-845-2021
仙台出入国在留管理局秋田出張所	018-895-5221		

引船 引船がある。

補給 清水、燃料油の補給ができる。給油船がある。

医療施設

名 称	電話番号	備 考
市立秋田総合病院	0570-01-4171	
秋田厚生医療センター	018-880-3000	

海上交通 敦賀港・新潟港及び苫小牧港との間にカーフェリー便（18,229 t）がある。

水先 水先法にいう水先区ではないが、水先類似行為者がいる。

港湾施設

名 称		概 位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
堤 ふ頭	-10m岸壁	40° 50.0' N 140° 45.5' E	185	7～9	15,000×1	
	-7.5m岸壁	40° 49.9' N 140° 45.4' E	263	5.5～7.5	5,000×2	
浜町 ふ頭	-9m東岸壁	40° 49.9' N 140° 45.3' E	179	4.5～8	8,000×1	南部は浅い。
	-7.5m岸壁		132	6.5～8	5,000×1	ふ頭の北側
本港 地区	-6.5m岸壁	40° 49.9' N 140° 44.2' E	100	5	2,000×2	八甲田丸北東隣
中央 ふ頭	-7.5m岸壁	40° 49.8' N 140° 44.9' E	125	6～6.5	5,000×1	
	-5.5m岸壁	40° 49.8' N 140° 44.7' E	64	3～4	2,000×1	
新中央ふ頭-10m岸壁		40° 50.0' N 140° 44.8' E	360	10	30,000t×1	国際ふ頭施設、耐震岸壁
沖館 ふ頭	-13m岸壁	40° 50.3' N 140° 43.5' E	270	11.5～13	40,000×1	国際ふ頭施設
	-10m岸壁	40° 50.4' N 140° 43.4' E	185	7.5～10	10,000×1	国際ふ頭施設
	-7.5m岸壁	40° 50.5' N 140° 43.3' E	260	6.5～7.5	5,000×2	
	-7.5m耐震岸壁	40° 50.6' N 140° 43.2' E	185	7.5	7,000t×1	耐震強化岸壁
フェリーふ頭第1号棧橋		40° 50.8' N 140° 43.0' E	200	6.5～7	6,000t×1	
フェリーふ頭棧橋		40° 50.7' N 140° 43.1' E	290	6	3,500t×2	
木材港-4.5m岸壁		40° 51.0' N 140° 42.3' E	420	4.5	700t×4	

最大入港船舶 2018年4月30日、旅客船 MSC SPLENDIDA (137,936 t、喫水 8.68m) が第2区の沖館ふ頭に着岸した。

錨地 検疫錨地は航路北口の北東方にある。危険物積載船が錨泊するときは、第3区に錨泊しなければならない。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、青森港安全推進協議会 青森港における船舶津波・台風等対策部会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：青森海上保安部）。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
青森海上保安部（港長）	017-734-2422	横浜植物防疫所塩釜支所弘前出張所	0172-36-0789
函館税関青森税関支署	017-734-0780	仙台出入国在留管理局青森出張所	017-777-2939
東北運輸局青森運輸支局	017-739-8112	青森県東青地域県民局地域整備部 青森港管理所	017-734-4101
仙台検疫所青森出張所	017-722-7687		

引船 引き船がある。

補給 主な係船施設で給水ができ、給油船がある。

修理

造 船 所 名	電 話 番 号	備 考
(株)北浜造船鉄工	017-742-3426	